

田中角榮先生像

碑文

田中角榮先生は大正七年五月四日新潟県刈羽郡二田村で父角次 母フメの第四子として生まれ 幼少より神童と云われ聰明にして闊達な性格は大器の芽生えと衆目を集めた

昭和九年青雲の志を抱いて郷関を立ち 苦学勉励し業を興し 戦機の動乱期 昭和二十二年 弱冠二十八歳にして衆議院議員に當選 爾来国政の中枢で郵政 大蔵 通算の各大臣を歴任 昭和四十七年五十四歳で自由民主党総裁 内閣 総理大臣に就任して内政外交に画期的な政治を断した 戦後途絶の悲運にあつた日中国交回復を実現し 国際平和に大きく貢献するとともに日本列島改造論を提唱 均衡ある国土発展を基調として 豪雪対策を含む裏日本の開発振興を積極的に推進 東京と新潟間の高速度交通開通等発展の基盤を築かれた功績は実に偉大である

依つて昭和六十年三月十四日上越新幹線 同十月二日関越自動車道の歴史的開通を記念し 奥只見地域レク都市事業の早期実現を期して有志相集い 茲に田中角榮先生の銅像を建立し 不滅の功績と榮譽を稱え悠久に威徳を顕彰する この像が世界の平和と国運の隆昌を希求し 永遠に魚沼郷 更には県土伸展の象徴となることを祈念する

寄附者 一二〇〇〇余名

昭和六十年十月吉日

田中角榮先生銅像建設期成會

制 作 日本藝術院會員 富永直樹
題字揮毫 衆議院議員 二階堂進
碑文揮毫 日展常務理事 廣津雲仙

注：二田村(ふただむら)、母フメ(フは旧字)